

2020年3月期第2四半期 決算説明資料

2019年10月30日
神奈川中央交通株式会社



一般旅客自動車運送事業

乗合事業においては、4月に慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスの学生数の増加に対応するため、湘南台駅～慶応大学間で輸送力の増強を行うとともに、神奈川県中央交通東(株)にて川崎市交通局より新たに1系統の受託を開始するなどの増収策を図りました。また、実証運行を行っている小山田桜台～唐木田駅東～多摩南部地域病院間において、8月に利用実態に合わせてワゴン車から小型バスに変更することにより輸送力を強化し、利便性の向上に努めたものの、東京工芸大学芸術学部の移転に伴い通学利用者が減少したことや養護学校など一部の特定契約輸送が契約満了となったことなどにより減収となりました。

貸切事業においては、神奈中観光(株)にて、積極的な営業活動に努めたことで旅行エージェントからの受注が増加したことなどにより稼働率が向上し増収となりました。

乗用事業においては、高齢の方や車椅子ご利用の方など、さまざまなお客さまが利用しやすいユニバーサルデザインの次世代型タクシー「JPN TAXI（ジャパntaxi）」の導入を推進しました。また、スマートフォンアプリなどによる無線配車サービスの利用促進に努めたほか、9月には決済機能付きタブレット端末を全車両に設置するなど利便性の向上を図ったものの、乗務員不足による稼働減が影響し減収となりました。

以上の結果、一般旅客自動車運送事業全体の売上高は29,868百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は1,830百万円（前年同期比18.3%減）となりました。



4月より増便した「湘南台駅西口～直行～慶応中等部前」線



タクシー車両に設置した決済機能付きタブレット端末

不動産事業

分譲事業においては、前期に引き続き、デベロッパーとのマンション共同事業として、伊勢原市桜台にて「リーフィアレジデンス伊勢原」および藤沢市羽鳥にて「プレミスト湘南辻堂」の販売を進めました。さらに、神奈川県内のほか、東京都内の物件を手掛けるなど広く分譲開発を継続し、茅ヶ崎市室田の戸建分譲および茅ヶ崎市菱沼の宅地分譲を進めたことなどにより増収となりました。

賃貸事業においては、高稼働率の維持に努め、前期に新たに賃貸を開始した「平塚市浅間町貸店舗」および新規テナントが入居した「港南中央ビル」などの賃貸収入が通期寄与したことなどにより増収となりました。

以上の結果、不動産事業全体の売上高は3,006百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益は1,331百万円（前年同期比10.9%増）となりました。



横浜市旭区さちが丘新築分譲住宅

自動車販売事業

自動車販売事業においては、神奈中相模ヤナセ(株)にて、フルモデルチェンジした「Aクラス」や「Bクラス」などの新車販売が順調に推移しましたが、高価格帯の車両販売が減少したことなどにより減収となりました。また、神奈川三菱ふそう自動車販売(株)にて、小型トラック「キャンター」の販売が順調に推移するとともに、整備部門において積極的な営業活動により受注が増加したものの、大型バスの販売台数が減少したことなどにより減収となりました。

以上の結果、自動車販売事業全体の売上高は13,698百万円（前年同期比6.7%減）、営業利益は122百万円（前年同期比22.5%減）となりました。



新型メルセデス・ベンツ「Aクラス」

その他の事業

流通事業においては、(株)神奈中商事にて、バスICカードシステム機器の代替を受注し、部品販売が増加したことなどにより増収となりました。

ビル管理事業においては、横浜ビルシステム(株)にて、4月より新たに金融機関の事務処理業務の一部を受託したほか、設備更新工事を受注したことなどにより増収となりました。

資源活生事業においては、(株)アドベルにて、リサイクル品の品質向上を図るため、前期にペットボトルリサイクル設備を更新し、販売価格の上昇効果を得られたことなどにより増収となりました。

商用車架装事業においては、横浜車輛工業(株)にて、トラクター架装の受注が順調に推移しましたが、前期に大手運送会社からコンテナ架装を大口受注した反動減などにより減収となりました。

レジャー・スポーツ事業においては、(株)神奈中スポーツデザインにて、4月より子ども向けスポーツスクールを核とした小規模運動施設「神奈中スポーツコンボBB茅ヶ崎」を開業したほか、9月に「フィットネスクラブライフティック平塚」にて、コラーゲン岩盤浴施設を導入するなど施設をリニューアルし、会員の獲得に向けた施策を推進しましたが、新たな競合施設の出店に伴う競争激化の影響などにより減収となりました。

飲食・娯楽事業においては、ドーナツ店やドトールコーヒー店舗にてタピオカドリンクなど新商品の売上が順調に推移しました。また、前期に新たなブランド展開を始めたラーメン店の2号店として7月にオープンした「北海道らーめん麺処うたり相模大野店」が順調に推移したものの、T S U T A Y A店舗における売上不振や閉店の影響などにより減収となりました。

ホテル事業においては、宿泊部門にて旅行エージェントへ積極的な営業活動を行い、訪日外国人旅行者など宿泊客が増加いたしました。また、前期にケーキショップ「ブルーベリー」が閉店した影響などにより減収となりました。

以上の結果、その他の事業全体の売上高は15,656百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益は687百万円（前年同期比12.8%増）となりました。



7月にオープンした「北海道らーめん麺処うたり 相模大野店」



9月にリニューアルした「フィットネスクラブ ライフティック平塚」

連結損益計算書 (1)

単位:百万円

	2020年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減	摘要	2020年3月期 第2四半期期初予想 (2019年4月公表値)	増減
売上高	56,773	57,157	△ 383 (△ 0.7%)	自動車販売事業 △977 一般旅客自動車運送事業 △506 その他の事業 +685、不動産事業 +271	58,300	△ 1,526 (△ 2.6%)
営業利益	3,843	4,158	△ 315 (△ 7.6%)	一般旅客自動車運送事業 △410 不動産事業 +130	3,330	513 (15.4%)
経常利益	3,893	4,297	△ 404 (△ 9.4%)	営業外収益 △120 営業外費用 △31	3,350	543 (16.2%)
特別利益	83	121	△ 38 (△ 31.8%)	補助金収入 △61 固定資産売却益 +24	30	53 (176.7%)
特別損失	185	258	△ 73 (△ 28.3%)	固定資産圧縮損 △60 固定資産除却損 △9	210	△ 24 (△ 11.8%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	2,473	2,729	△ 256 (△ 9.4%)		1,950	523 (26.9%)
1株当たり 四半期純利益	201.56円	221.65円	△ 20.09円		159.29円	42.27円
減価償却費	3,276	3,163	113			
EBITDA	7,120	7,321	△ 201	※営業利益+減価償却費		

売上高

自動車販売事業は、商用車販売事業において大型バスの代替需要の減少により減収。

一般旅客自動車運送事業は、乗用事業において乗務員不足により稼働が減少したことや乗合事業における輸送人員の減少により減収。

その他の事業は、流通事業においてバスICカードシステム機器の販売により増収。

不動産事業は、新築分譲マンション「プレミスト湘南辻堂」の販売により増収。

営業利益

一般旅客自動車運送事業は、減収に加えて車載機器の代替などの設備投資により減価償却費が増加し減益。

不動産事業は、分譲事業や賃貸事業における増収により増益。

経常利益

営業利益の減少による減益。

特別利益

1	固定資産売却益	34百万円	車両売却益等
2	補助金収入	48百万円	乗合バス購入補助金等

特別損失

1	固定資産除却損	119百万円	乗用事業における車載機器代替に伴う除却損等
2	固定資産圧縮損	47百万円	補助金による圧縮額

連結貸借対照表

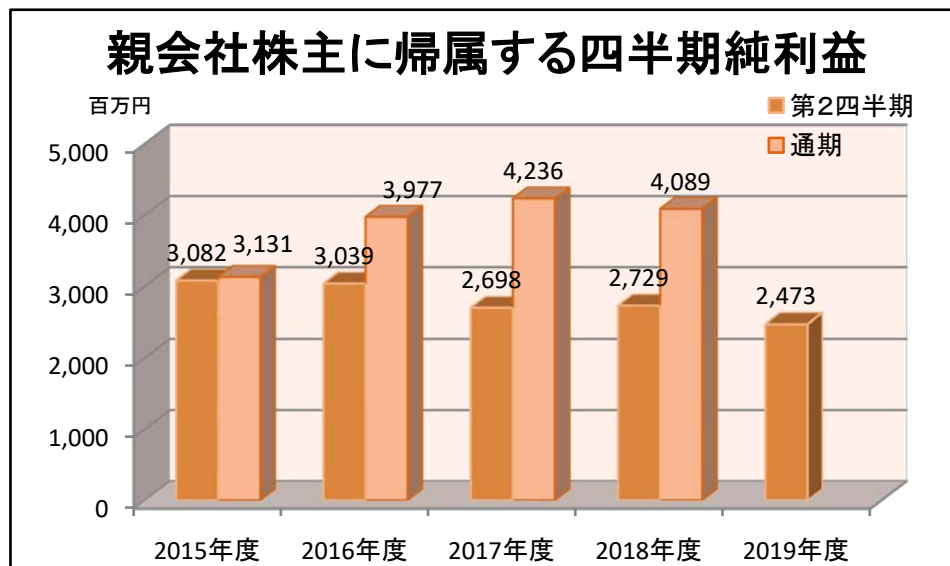
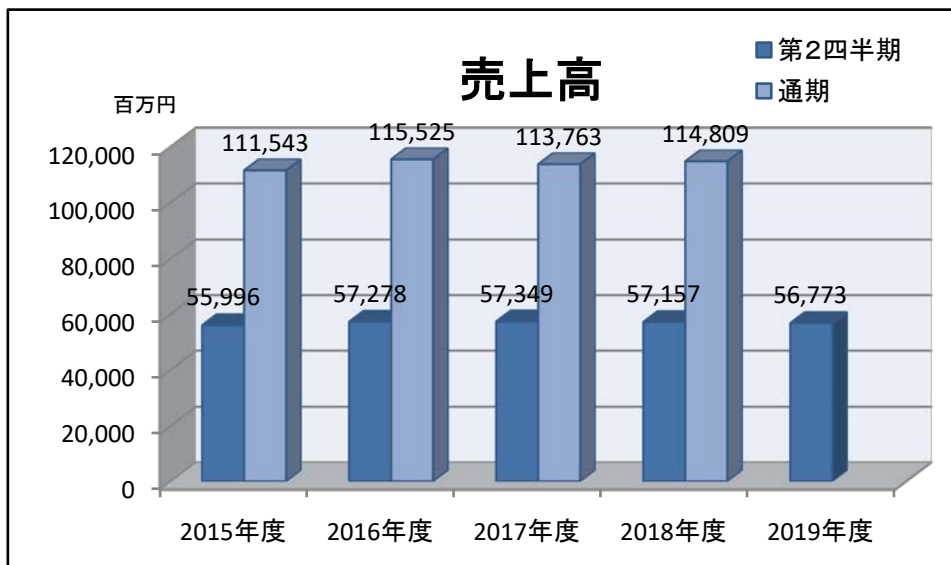
単位：百万円

	2020年3月期 第2四半期	2019年3月期	増減	摘要
流動資産	21,978	22,256	△ 277 (△ 1.2%)	受取手形及び売掛金 △377
固定資産	130,290	130,920	△ 629 (△ 0.5%)	投資有価証券 △534
資産合計	152,268	153,176	△ 907 (△ 0.6%)	
流動負債	51,561	47,952	3,608 (7.5%)	短期借入金 +3,075
固定負債	38,685	45,159	△ 6,474 (△ 14.3%)	長期借入金 △6,215
負債合計	90,246	93,112	△ 2,865 (△ 3.1%)	
純資産合計	62,021	60,064	1,957 (3.3%)	利益剰余金 +2,197
負債純資産合計	152,268	153,176	△ 907 (△ 0.6%)	

1株当たり純資産額	4,682.00円	4,533.08円	148.92円	
自己資本比率	37.7%	36.3%	1.4P	
有利子負債残高	43,840	46,979	△ 3,139	

単位：百万円

	2020年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減	摘要
営業キャッシュ・フロー	6,891	6,610	280 (4.2%)	
投資キャッシュ・フロー	△ 2,818	△ 858	△ 1,959 (△ 228.2%)	固定資産の取得による支出の増 △1,972
財務キャッシュ・フロー	△ 4,059	△ 5,619	1,559 (27.8%)	短期借入金の純増減額 +1,487
現金及び現金同等物の増減額	12	132	△ 119 (△ 90.3%)	
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,808	2,600	208 (8.0%)	



神奈中グループ	子会社 19社、関連会社3社
うち 連結子会社	19社
持分法適用会社	2社 (大山観光電鉄(株)、(株)小田急保険サービス)

《主な連結会社》

【一般旅客自動車運送事業】

神奈川中央交通(株)、神奈中タクシー(株)、神奈中観光(株)

【不動産事業】

神奈川中央交通(株)、神奈中タクシー(株)、神中興業(株)

【自動車販売事業】

神奈川三菱ふそう自動車販売(株)、神奈中相模ヤナセ(株)

【その他の事業】

神奈川中央交通(株)、(株)神奈中商事、(株)神奈中スポーツデザイン、(株)アドベル、(株)神奈中情報システム、横浜ビルシステム(株)

単位：百万円

	2020年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減	摘要	2020年3月期 第2四半期期初予想	増減
売上高	29,868	30,375	△ 506 (△ 1.7%)	乗合事業 △164 貸切事業 +13 乗用事業 △355	29,870	△ 1 (△ 0.0%)
営業利益	1,830	2,241	△ 410 (△ 18.3%)	乗合事業 △312 貸切事業 △18 乗用事業 △79	1,390	440 (31.7%)

【対前年】

売上高は、乗用事業において乗務員不足により稼働が減少したことや乗合事業における輸送人員の減少により減収。
営業利益は、減収に加えて車載機器の代替などの設備投資により減価償却費が増加し減益。

※参考 乗合事業輸送人員

単位：百万人

	2020年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減率	摘要
定期外	91	92	△ 1.0%	
定期	34	34	△ 0.4%	
合計	126	127	△ 0.8%	

単位：百万円

	2020年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減	摘要	2020年3月期 第2四半期期初予想	増減
売上高	3,006	2,734	271 (9.9%)	分譲事業 +193 賃貸事業 +78	3,430	△ 423 (△ 12.3%)
営業利益	1,331	1,200	130 (10.9%)	分譲事業 +45 賃貸事業 +84	1,260	71 (5.6%)

【対前年】

分譲事業における新築分譲マンション「プレミスト湘南辻堂」の販売に加え、賃貸事業において、前期に賃貸を開始した「平塚市浅間町貸店舗」が寄与したことなどにより増収増益。

単位：百万円

	2020年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減	摘要	2020年3月期 第2四半期期初予想	増減
売上高	13,698	14,676	△ 977 (△ 6.7%)	商用車販売事業 △583 輸入車販売事業 △393	14,850	△ 1,151 (△ 7.8%)
営業利益	122	158	△ 35 (△ 22.5%)	商用車販売事業 +38 輸入車販売事業 △74	130	△ 7 (△ 5.5%)

【対前年】

商用車販売事業において、大型バスの代替需要が減少したものの、車両整備や部品販売の増収により増益。
輸入車販売事業においては、モデルチェンジした新車の販売が順調に推移したものの、高価格帯の車両販売が減少したことなどにより減収減益。

※参考 新車販売台数

単位：台

	2020年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減
トラック	1,136	934	202
バス	40	91	△ 51
輸入車	232	250	△ 18

単位：百万円

	2020年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減	摘要	2020年3月期 第2四半期期初予想	増減
売上高	15,656	14,970	685 (4.6%)	流通事業 +625 サービス事業 +126 飲食・娯楽事業 △81	15,920	△ 263 (△ 1.7%)
営業利益	687	609	77 (12.8%)	流通事業 +122 飲食・娯楽事業 +24 レジャー・スポーツ事業 △52	710	△ 22 (△ 3.2%)

【対前年】

流通事業におけるバスICカードシステム機器の販売や、ビル管理事業の新規業務受注により増収増益。

2020年3月期の業績予想

単位:百万円

	2020年3月期 業績予想	2019年3月期	増減	摘要
売上高	114,900	114,809	90 (0.1%)	
営業利益	5,760	6,606	△ 846 (△ 12.8%)	
経常利益	5,730	6,789	△ 1,059 (△ 15.6%)	
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,240	4,089	△ 849 (△ 20.8%)	
1株当たり当期純利益	264.37円	332.64円	△ 68.27円	

売上高

単位:百万円

	2020年3月期 業績予想	2019年3月期	増減	摘要
一般旅客自動車運送事業	58,950	59,249	△ 299 (△ 0.5%)	
不動産事業	7,170	6,671	498 (7.5%)	
自動車販売事業	31,480	30,985	494 (1.6%)	
その他の事業	31,960	31,183	776 (2.5%)	

営業利益

単位:百万円

	2020年3月期 業績予想	2019年3月期	増減	摘要
一般旅客自動車運送事業	2,030	2,838	△ 808 (△ 28.5%)	
不動産事業	2,470	2,427	42 (1.8%)	
自動車販売事業	240	297	△ 57 (△ 19.2%)	
その他の事業	1,380	1,284	95 (7.4%)	

単位:百万円

	2020年3月期 業績予想	2019年3月期	増減	摘要
売上高	53,800	53,996	△ 196 (△ 0.4%)	
営業利益	3,630	4,126	△ 496 (△ 12.0%)	
経常利益	3,840	4,472	△ 632 (△ 14.2%)	
当期純利益	2,360	2,965	△ 605 (△ 20.4%)	
1株当たり当期純利益	192.67円	241.22円	△ 48.55円	

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【問い合わせ先】

神奈川中央交通株式会社

総務部

TEL 0463-22-8800